

薬害イレッサ問題についての申入書

2008年12月4日

アストラゼネカ株式会社
代表取締役社長 加藤 益弘 殿

イレッサ薬害被害者の会
代 表 近 澤 昭 雄
薬害イレッサ東京支援連絡会
運営委員長 西 川 勉
事務局長 小 池 盛 明

薬害イレッサ問題については、2008年10月16日付申入書の提出をはじめ、これまでに何度となく貴社への早期全面解決を申し入れてきました。2002年7月のイレッサ販売開始から6年半が経過、本年3月末までの副作用死報告は734人に及んでいます。

2004年の裁判開始からも4年が経過しようとしていますが、この問題は決して時間の経過とともに風化するものではなく、世論へは着実に広がっています。

貴社におかれては、真に有効で安全な医薬品を供給するという製薬メーカーの責任にたちかえって、この問題の早期全面解決をはかるため、私たち被害者と支援との話し合いの場を設けることを求めます。

貴社の誠実な対応と回答を求めます。

以 上